

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「請戸(うけど)」

2011・3・11大震災時の「釜石の奇跡」は、有名な話ですが、あの日、福島県・浪江町・請戸小学校での「全児童・教職員95名全員避難」という「奇跡」があったのですね。記事から～

「請戸小学校は、海から300m・標高3～4m、高い所は、約2km離れた標高40mの大平山。大きな揺れの後全員が校庭に。津波警報の中、校長先生が、『とにかく高い所へ…大平山へー！』（栃本交差点から二瀬中学校めざす位…）先生方は、渋滞する県道の車を止めて、児童を渡らせ…車椅子の児童をおんぶして…上級生は下級生の手をにぎりながら…大平山へ…。途中で迎えに来た親には、『避難所で会いましょう。または、一緒について来て下さい』と。避難から約1時間後、全員が山頂に到着できた頃、請戸地区は壊滅していた。国道6号に下りて、通りかかったトラックに全員乗せてもらい、浪江町役場に避難できた。鉄筋コンクリートで残った旧校舎は、整備され震災遺構として2021年10月公開された」と。

あの余震の恐怖…津波の恐怖…寒さの中、冷静な校長先生の指揮だったのですね。

朝の市場で…

「気をつけてね…」 「運びますよ…」と、親切にしてもらおうと嬉しい。なので…ありがとう、歳をとるといいこともあるのよ…。

「それは何ですか…？」 それは…、若い人に優しくしてもらえること…と、ダメなことは、歳のせいにしてしまうこと…(笑)

「アハハハ…そういうことですか…」

うん…そういうこと…。

年寄り扱いはイヤだ…と、言う先輩もいるけど、素直に、ありがとう…と言いたい。ちょっぴり、自分も優しくなれそうな…そんな気がして。

藍の空明けの星やわき立春

昨年、郡山市から各家に配られた、「土砂災害ハザードマップ」大判の地図で広げて…ドキッ。でも、よくよく見てみると、とてもわかりやすく作られています。土砂災害の例でも、

- ・土砂災害特別警戒地域
- ・土砂災害(急傾斜地の崩壊)
- ・土砂災害(土石流)
- ・土砂災害(地滑り)

が色分けされています。

避難所…避難経路も一目でわかりやすく…。

コロナ禍で、おうち時間がたっぷりの今…ハザードマップの上で、地域のあちこち…見てみるのもいいと思います。

災害など、何もない事が一番ですが、気になる所があったら、河川課へ聞いて下さい。



くまのプーさんみたい (10歳と8歳が…)